

会 議 録

会議の名称	令和2年度第2回行田市女性活躍推進ネットワーク会議	
開催日時	令和2年10月30日（金） 開会：午前10時30分・閉会：午前11時35分	
開催場所	行田市男女共同参画推進センター 学習室	
出席者（委員）氏名	山崎孝子委員（座長）、岡田恵美委員、吉澤篤人委員（代理人出席）、西田信子委員、竹井里美委員、永島志津江委員、幅崎麻紀子委員、中村洋子委員、加藤美幸委員、大中美奈子委員、馬橋央承委員、内沼真由美委員、田島孝代委員（名簿順、敬称略）	
欠席者（委員）氏名	香川彩子委員、吉岡浩司委員、根岸桃子委員、江森加織委員、坂詰恭子委員、井上文子委員、鹿山由美子委員、嶋田和子委員	
事務局	堀口修司（所長）、新島紀子（主任）	
会議内容	<p>（1）報告事項 本年度セミナー等について</p> <p>（2）①女性活躍推進事業の協力依頼について ②令和3年度女性活躍推進事業の事業案について</p> <p>（3）その他</p>	
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・会議次第 ・資料1 令和2年度 事業実施報告書について ・資料2 令和3年度 女性活躍推進事業（案）について ・行田市女性活躍推進事業・意識啓発事業アンケート集計結果 （親子料理講座・在宅ワーク育成セミナー・自分の価値観や適性を知ろう・アロマ講座・パソコン講座） 3講座チラシ（パソコン講座・保育セミナー・男の料理講座） ・埼北読売掲載記事のコピー（親子料理講座） 	
その他必要事項	・1人（町田 光氏）	
会議録の確定	確定年月日	主宰者記名押印
	令和2年 月 日	⑩
発言者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）	

司会	<ul style="list-style-type: none"> ・開会。 委員の自己紹介。(7月の人事異動で変わった県職員大中委員)配布資料の確認。 ・本日の会議は、個人情報を取り扱う予定がないことから、原則公開とさせていただく。また、会議録については、委員名を明記の上、市政情報コーナー及び市ホームページにおいて公開させていただく。 本日の傍聴希望者は1名。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただく。議事が円滑に進むよう、皆様の御協力をお願いする。 それでは、女性活躍推進事業ネットワーク会議の議事の(1)本年度セミナー等について事務局に説明を求める。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき説明。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいま事務局から説明があったが、意見や質問等あるか。 資料は、カラー刷りで、アンケート結果も詳しく書いてあるので、すごく参考になると思う。今日配られたので目を通す時間が必要だが、気がついたことがあったら意見をいただきたい。 私の意見としては、受講者の予約が1・2日で定員に達してしまうことが、素晴らしいと思う。講座の人が定員に満たないことは、もったいないことだ。皆に関心があることを題材にセミナーをやっている証だ。とてもいいことだと思う。皆さんはどうか。
幅崎委員	<ul style="list-style-type: none"> ・短期間でこんなにたくさんの講座を受ける機会を提供しているのは素晴らしいことだ。どれも、ほとんど定員いっぱいの参加がある。私事だが、気が付くのがちょっと遅れて申し込みをしたところ「満杯です。」と言われたことがある。「まだ3・4日しかたっていないのに？」である。しっかり目を通せる方々ばかりではない。みんなに平等に講座が受けられる機会が与えられるようお願い

座長	<p>いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年はコロナで募集人数を減らしているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・会場の収容人数の半分で、県のセミナーを開催した。パン作りは密にならないことと食べることの中止をして開催し、相い向かいにならないよう工夫して行った。申し込めなかった方が、多くいる事から、来年度は2回開催したいと考えている。コロナの感染状況により、柔軟に対応していく予定だ。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・了解した。来年度はコロナが収束している事を願っている。講座の人気があるということは、皆の関心が高いということなので嬉しい。その他意見はあるか。
岡田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・親子料理講座に於いて、児童向けに具体的にどのような話をしたのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・「料理をするということにおいて、男性も女性も協力しあってよりよい生活を送っていく」ということを話した。
岡田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートで、「女のくせに」「男のくせに」とか「男女平等だと思わない」そんな回答について、もっと掘り下げて、アンケートをとってみてはどうか。また、パン作りだとパンを焼いている時間を利用してテーブルごとにグループディスカッションを行い、男性と女性が協力し合ってより良い社会を作るってどういうことなのかなというのを、意見を出し合うことをしたら、もっと良くなると思う。 <p>在宅ワークセミナーと就職支援セミナー、どちらもニーズがあるようだ。在宅ワークセミナーのアンケートで、参加目的が、「コロナで仕事がなくなってきてしまった」とあったので、このセミナーは、継続していく必要があると感じた。まだ収束の見込みが</p>

座長	<p>立たない以上、きちんと行政として、やっていただきたいと感じた。アンケートの要望もしっかり生かして行田市の参加率も上がるような告知とか周知をして欲しい。</p> <p>・在宅ワークセミナーも就職支援セミナーも行田市の参加人数よりも加須と羽生のほうが多いようだ。遠方から来られるってことは、コロナで皆就職先がなくなっていることなのか。これらのセミナーは、この先も行って欲しい。意見がないようなら次の(2)の協議事項①「女性活躍推進事業の協力依頼」について事務局から説明いただく。</p>
事務局	<p>・資料に基づき説明</p>
座長	<p>・事務局から説明があったが、これから4つのセミナーが行われるが、意見があるか。</p> <p>終活セミナーは、前にもやったが、これからいろいろな形で備えておくと憂いなしということで、こういう講座は、とてもいいと思うので皆も時間があれば参加をお願いします。</p> <p>それでは、協議事項②「令和3年度女性活躍推進事業の事業案」について事務局から説明願う。</p>
事務局	<p>・資料に基づき説明</p>
座長	<p>・令和3年度の案について、意見があるか。</p>
岡田委員	<p>・在宅ワークセミナーは是非継続していくべき事業だと思う。県の事業から、もれてしまった場合でも、市独自で開催できるように、並行して計画していただけたらと思う。在宅ワークセミナー・就職支援セミナー・SDGS講座はオンラインでも、実施できるものだと思うので、先程申込できなかったという声もあったところも踏まえ、なるべく多くの方に参加いただけるような仕組みを作っ</p>

	<p>ていただきたい。それから、SDGS 講座ということだが、ゲーム感覚で色々な所でやっていると思うが、講座を受けても持ち帰りにくいという印象がある。なぜやらなくてはいけないか、どうして取り込まなければいけないか、市民目線というか個人目線からの話をしていただくとわかりやすい講座になると思う。</p>
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・メンタルセミナーは具体的には決まっているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ決まっていない。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・人を集めるのが難しい時代だが、今年同様定員が一杯になり、にぎやかに開催できること期待する。 ものづくり大学の永島先生いかがか。
永島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に人気のあるものについて、例えば親子料理講座など、来年複数回やってもいいと思う。あとは、アンケートで初めての参加かリピーターなのか、参加者が固定されているのか、それとも、皆さんが色々なものに目を向けて参加されているのかを調査できたらよいと思う。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・とてもいい意見だ。事務局、次回はアンケートを取る時、講座への参加状況がわかるようにアンケートの実施をお願いしたい。 それでは加藤さんはどうか。
加藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワークでは、コロナ感染の影響で、求職者は非常に増えているが、セミナーは、かなり少なくなっている。開催しているセミナーも募集定員が半分になっているため数日で定員に達する。今回面接会が 11 月と 12 月に催され問い合わせも多いが、すぐに就職したいというわけではないようだ。現在、小口資金・総合支援資金で多くの外国籍の方が申請しているようだ。この外国籍の方たちは、日本語が喋れない方が多い。今、ハローワークに

	<p>来ている外国人の方たちは、昨年の3倍いる。皆自分で通訳を連れて来ている。国籍の隔たりなく社会に進出させるには、言葉の壁がなくなる世の中にしていけないと、これからは難しい。日本語が喋れない人たちが、日本で働き続けられる状況にしていけないとと思っている。よって、そういう方たちへのセミナーがないことが問題だと感じている。</p>
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ウーマノミクスの中さん、県の状況はどうか。
大中委員	<ul style="list-style-type: none"> ・県も、セミナー等削減しているので、受講できない方が多く出ている状態だ。女性は、事務職の希望が多いので、事務職につけるようなセミナーをやっているが、企業からの募集がなかなかいない。当センターでは、職域拡大ということで、今年から営業職も視野に入れていただくセミナーを始めた。いわゆる販売職も営業職の1つ、という視野を広げるセミナーで、アンケート結果では皆から好評をいただいていると感じている。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・就職したい人も、言葉の壁がありいろいろ大変である。人事課の馬橋さん意見はあるか。
馬橋委員	<ul style="list-style-type: none"> ・行田市も正規職員以外は臨時職員と言うが、今年からは会計年度職員という職名になった。ハローワークさんを通じて求人募集しており、今年度については、応募が多いと感じる。就職支援ということで雇ったが、すぐ辞めてしまう方がいる。長く働き続けられるような支援が必要ではないかと考えている。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり支援課の内沼さんはどうか。
内沼委員	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中、いろいろとチャレンジしていただいたことがすごいなと思っている。地域づくり支援課では、自分の業務で相談業務があり、ここ半年くらい、今までなかったような相談が、

座長	<p>増えている。例えば心の相談とか、外に出られないで認知症がすすんで困っているとかだ。メンタルセミナーなど、募集チラシを見て行動を起こせる人はまだいい方だ。これからは、行動が起これなくて家にいる方まで情報が届くような広報の仕方を考えないとならない。出られない人にも、支援が届く必要があると思う。先程の人事課の意見も、一步出たけどやはり駄目だったという方も、これから増えていくのかなという印象を受けている。</p> <p>・商工観光課の田島さんはいかがか。</p>
田島委員	<p>・コロナ禍で様々な分野で苦勞されながら事業を行なっている印象がすごく強く、こちらの男女共同参画に向けた事業についても、やはりこういった講座をやってきて、こんなにも皆に参加していただけるってことはすごいと思う。また、永島委員と同じように私も、毎回同じ方の参加ではなく、多くの方に参加していただけたらいいなと思う。商工観光課のほうも、コロナ禍で皆が工夫しながら小規模事業者の方への事業等を行っており、中小企業の方を対象に感染症予防に投じた資金の補助金もおこなっている。なんでもそうだが、この情報を知らなかったという方、申請期間の申請に漏れてしまう方などが無いように情報発信しているが、届かなかったりする方がいるのが残念で、行政としても皆に通じるように発信していきたい。こういったところで話をさせていただいて、こういう補助金があるというのを知っていただきたい。</p>
座長	<p>・女性部の連絡会中村さんどうか。</p>
中村委員	<p>・これから今年度ある講座で終活セミナーがあるが、私たちの年代になると、でられるものが、その辺かという感じだ。昨年度も出席したが、私の知りたい内容ではなかった。今年は内容を伺ったところ、楽しみにしている。それから、男性料理講座の年越</p>

	<p>しそばは、地元の方でも蕎麦打ち愛好会があり、その中でもやはり、7：3で男性の方が多いので、男性に受け入れやすいのかと思う。何のセミナーにするにしてもコロナ禍が前提となって、今までは人数をたくさん集める、一杯にするのがたいへんだったのが、今後は逆に最初から半数という前提で、出たいのに出られないというのが歯がゆいところもある。令和3年度のメンタルセミナーの内容ということだが、やはりコロナ禍で、ある程度の年齢の方は、認知症になるかコロナに罹るかどちらかというような話をこの間テレビでやっていた。若くても引きこもりがちの方とか、家族が同居していないお年寄りも、筋肉もすごく低下してしまって、日常生活に支障をきたし、他の病気にも、コロナにも対応できなくなり大変になる気がする。具体的に何をしろというのではないが、メンタルセミナーをよろしく願います。</p>
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・西田さんはいかがか。
西田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGS講座とメンタルセミナーは幅が広いので、誰に向けてやるか明確にしないと難しい。趣旨や対象をある程度絞って目的を明確にして、開催したらと思う。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・竹井さんはいかがか。
竹井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も素晴らしいセミナーだったと思う。就職セミナーとか、パソコン講座があったが、就職できているのか、就職率をお聞きしたい。それから、withコロナで、就職試験の面接もオンラインだと思うが、その仕方はパソコン講座にはあるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・就職率については、把握していない。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉大学の幅崎先生、いかがか。

幅崎委員	<p>・今、オンラインのお話がでたが、前回の会議の時にも申し上げさせていただいたが、新しい方、なかなか来られない方にこういった事業を知っていただいたり、セミナーに参加していただくためにも、積極的にオンラインセミナーを導入する方向でご検討いただければと思う。女性活躍、次世代の担い手は若年層なので、今回のパン作りは大変だったが、お子さんのうちからこういった取り組みを理解していただくうえでは非常によかったと思った。また、アンケート結果から男性・子供・若手 20 歳代・40 歳代もなかなか外に出られないのかなという感じを受けるので、そういった方々に来ていただくように内容などの方法をご検討いただければありがたい。具体的には、先程のメンタルセミナーの中で、ストレス軽減や、難しい話もありましたが、例えば、メンタルヘルスというよりもコミュニケーションをどういうふうにとっていくかという講座などどうか。あと、パソコン講座などでも、ワード、エクセルの使い方だけじゃなくて、最近はネットで応募してということが非常に多くて格差が生まれているので、それを埋める何かをご検討いただければと思う。</p>
座長	<p>・それではものづくり大学永島先生はどうか。</p>
永島委員	<p>・初めにいろいろ言わせていただいたところがあるが、確かに皆の言うとおりにセミナーなど工夫しながらやらざるを得ない。あと何度かでていますが、オンラインで参加できるようになれば子どもが小さくて参加したくても参加できないような人も気楽に参加できるようになればいいのかなと思う。あとは、いろいろ話を聞いていると、こちらがいろいろ情報発信しても、受け取る側がそれを察知するのを逃がしてしまったり、参加したかったけど、終わってしまったとかあるので、情報発信の仕方というのが割と肝になると思う。具体的にはどうしろというとなかなか出てこないが、もう少し工夫が必要なのかなと思う。</p>

座長	<ul style="list-style-type: none"> ・ファイブイズホーム松原さんはいかが。
松原委員	<ul style="list-style-type: none"> ・メンタルセミナーについて、対象の方によって内容が全く変わってくると思う。当社でも若手でメンタルの不調になったり、逆に部下を持っている中堅がメンタル不調になることもあるので、2年前くらいに産業医の先生に来ていただいて全社員対象のメンタルセミナーをやったことがある。産業医の先生と、講座内容について、打ち合わせした時、誰に焦点をむけるか、悩んだ。メンタル不調になった本人に対するものと、周りの上司や同僚の方に向けての対応の仕方について、講義を行った。内容を盛り込みすぎると情報が多すぎて伝わっているか不安であるので、対象を特定して、範囲をじっくりお話して準備されたらよいと思う。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・皆からいろいろな意見をいただきありがとうございます。その他はあるか。それでは議事の3の「その他」について事務局から説明をお願いします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・その他として事務連絡がある。1点は女性に対する暴力をなくす運動週間で、女性に対する暴力根絶運動のシンボルのパープルリボンにちなんで11月12日（木曜日）から25日（水曜日）の午後5時から10時まで忍城を紫色にライトアップしておりますので、ご覧になっていただければと思う。もう1点は次回、第3回のネットワーク会議を2月に実施する予定で、詳細は決定しだい通知を郵送する。
座長	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の議事は、すべて終了する。これをもって議長の職を解かせていただく。事務局に返す。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・長時間に渡り誠にありがとうございます。貴重な意見をいただくことができ、事務局も助かっている。この貴重なご意見を取り入れまして、今後の講座やセミナーがよりよいものになってい

	<p>けばと思っておりますので今後ともよろしく願います。</p> <p>以上をもって閉会とする。</p>
--	--